

# 多自然川づくりサポートセンターについて

リバーフロント研究所 河川・海岸グループ 研究員 池田 有希

## 1. はじめに

平成2年から始まった多自然川づくりの推進に合わせて、(公財)リバーフロント研究所では全国の多自然川づくりへの活動支援を継続的に実施しています。本稿はこれまでの活動内容について、報告いたします。

## 2. 多自然川づくりサポートセンターとは

「多自然川づくり」の現場では、「多自然川づくり基本指針」(平成18年10月)や「中小河川に関する河道計画の技術基準(以下、中小河川技術基準)」(平成20年3月策定、平成22年8月改訂)を基本としつつも、具体の現場毎にその適用を考えることが必要です。しかし、川づくりの技術や知見の普及・適用、多自然川づくりの具体の事例に関する情報共有と人材育成、さらに住民・NPO等との連携などが課題となっています。

上記課題に対応するため、現場に対する技術的な支援、市民との連携の強化、川づくりに関する相談窓口、情報共有などを目的として、平成20年2月、(公財)リバーフロント研究所に「多自然川づくりサポートセンター(以下、サポートセンター)」を設置しました。

サポートセンターの目的を下記に示します。

- (1) 技術資料の作成・公表
- (2) 技術の普及・人材育成
- (3) 河川整備の現場からの問い合わせ対応
- (4) 川づくりのプロセスに関するサポート

## 3. これまでの活動実績

サポートセンター設立から7年経過した平成27年度までに、多自然川づくりミニシンポジウムの開催や市民団体から環境に配慮した河道掘削方法に関する相談など、217件の活動を実施しました。

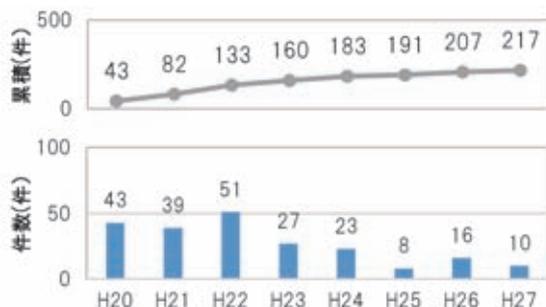


図-1 サポートセンターの活動状況

設立当初には、「中小河川技術基準」が通知され、「多自然川づくりポイントブックⅢ」が発刊されたことから、自治体や市民団体等が主催する勉強会への講師派遣が多くありました。

その他、河川管理者や市民団体からの川づくりの相談への対応や多自然川づくりに関する取材協力などを行っています。

平成27年度は10件の活動を実施しております。主な活動内容は表-1に示すとおりで、講師派遣や大学への研究協力、多自然川づくりに関する問い合わせへの対応を行っています。



写真-1 市民団体との勉強会(H21)



写真-2 市民団体との現地視察(H22)



写真-3 多自然川づくりの広報  
(多自然川づくりに関する取材協力、H26)

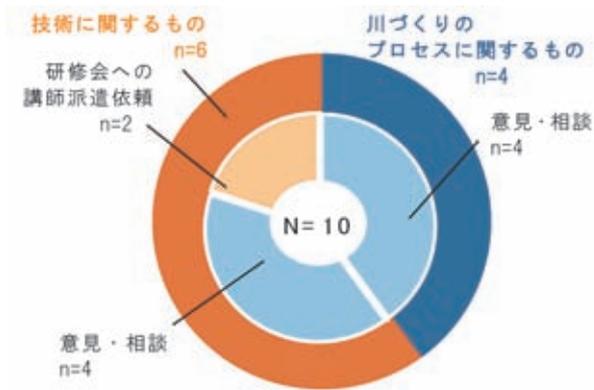


図-2 平成27年度サポートセンターに寄せられた相談・依頼の内訳

表-1 平成27年度の主な活動

内容	依頼元
岡山県多自然川づくり講座への講師派遣	岡山県
中国福建省園林緑化研修団の研修への講師派遣	(公財)日本河川協会
多自然川づくりと住民参加に関わる研究へのアドバイス	岩手大学
多自然川づくりに関する質問への回答	大学生
河川改修に関わる相談	市民団体

#### 4. 岡山県多自然川づくり講座への講師派遣

サポートセンターでは、平成22年から毎年岡山県多自然川づくり講座への講師派遣を行っております（他に(株)吉村伸一流域計画室 代表取締役吉村伸一氏も講師として、招かれています）。

講座の受講者は岡山県内の行政職員や民間業者（建設会社、コンサルタント）であり、2日間にわたる研修となっています。

研修内容は座学だけでなく、事例河川を対象に受講者の方々に縦横断・平面計画の見直しや模型の作成を行います。

##### 研修内容

- ①講義（多自然川づくりのポイント）
- ②事例河川の現地調査
- ③事例河川の保全や改善に関する検討
- ④河道計画の立案（事例河川を対象に、現地調査や検討内容を踏まえ、模型の作成を含む平面・縦横断計画の見直し）

受講生は2班にわかれ、班ごとに河道計画の検討をすすめていきます。まずは班内で議論し、次に班ごとに検討内容を発表し、講師や他の受講生から意見をもらい、その意見を次の検討に活かすという形を繰り返し、最終的には模型による河道計画を立案しました。



写真-4 現地調査の様子



写真-5 改修計画案を議論している様子



写真-6 作成した模型を用いて、改修計画案を説明している様子

#### 5. おわりに

サポートセンターの活動は多自然川づくりの普及、川づくりの質の向上の一端を担うものとなっています。

今後はこれまでの経験と蓄積された情報を踏まえて、技術的な支援を継続していくとともに、多自然川づくりに関する情報発信に努め、さらなる多自然川づくりの普及を図っていくことが重要と考えております。

サポートセンターでは、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、相談窓口、情報の共有等を行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：tasizen ☆ rfc.or.jp

（☆を@に変えてご利用ください）